

議事録

日 時	令和5年7月31日(月)	時 間	13:30～15:30
場 所	千葉県企業局 幕張庁舎2階 特別会議室 (web会議併用)	出席者	(懇話会メンバー) 鎌田座長、小松崎副座長) 外10名 (企業局) 金子管理部長、渡辺水道部長、角田水道部次長、密本水道部次長、鳥海水道部次長 望月計画課長、小林浄水課長、三橋給水課長、関係職員、事務局職員
議事名	第5回おいしい水懇話会		
<p>○開会</p> <p>○懇話会の公開について</p> <p>○配布資料の確認</p> <p>○懇話会メンバー、局職員紹介</p> <p>○管理部長挨拶</p> <p>○座長挨拶</p> <p>○議題1 技術的な取組</p> <p style="margin-left: 2em;">資料(p1-2)により、プロジェクトの水質目標と実績について事務局から説明。</p> <p style="margin-left: 2em;">資料(p3-4)により、残留塩素の低減化について事務局から説明。</p> <p style="margin-left: 2em;">主な意見、質疑は以下のとおり。</p> <p style="margin-left: 2em;">(懇話会メンバー) 成田給水場の次亜塩注入設備で、次亜塩を配水池の入口で追加するか出口で追加するかで、残留塩素管理の安定性が異なることについて、詳しく説明してもらいたい。</p> <p style="margin-left: 2em;">(企業局) 成田給水場の追塩設備は元々あったが、配水池の前の着水井に付いていた。その場合、配水池を通過すると、残留塩素が下がってしまうことがあったが、さらに出口側にも追塩設備を追加することで、配水池の中で下がってしまう残留塩素についても補完でき、給水場から送り出す水の残留塩素を安定して管理できるようになった。</p> <p style="margin-left: 2em;">(鎌田座長) 残留塩素の低減化もある程度下げ止まりになってきているが、高濃度配水区域が減ってきて、平準化されてきているのではないか。その辺が図 1-1-2 の推移だけでは分からない。せっかく低減化に取り組んでいるので、見えるような形で表現できるのであれば、ご検討いただければと思う。</p>			

議事録

○議題2 お客様との取組

資料(p5-6)により、水道出前講座の実施状況について事務局から説明。

資料(p7-12)により、おいしい水検定の実施状況について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(小松崎副座長) 一度おいしい水検定を受けた人が、また来年、再来年と個人で受けることはあるのか。それは構わないのか。

(企業局) 一度受けた人がまた受けることはあり、それは構わない。ちなみに、毎年同じ問題を出す訳ではなく、全部ではないが年ごとに問題を変えていくことにより、いろいろなPRをしていきたい。

(小松崎副座長) 例えば小学生の時においしい水検定を受け、中学生の時に一般としてまた受けたらどうかということで、小学校、中学校で連携して宣伝する作戦もあると思った。

(企業局) 参考にさせていただく。

(懇話会メンバー) 検定なので、「級」で出すことはできないか。例えば20問受け、そのうち、何問解けたからあなたは一級、あなたは二級というランクが出れば、たぶん家族で受けた時に、パパは一級だったけどママは二級みたいな感じで、家族の参加数が増えると思う。

(企業局) 現状の検定では、点数に応じてお送りする認定証のデザインを変えている。「級」については、現在のところは設定しておらず、検討させていただきたい。

(懇話会メンバー) 折りたたみボトルをプレゼントするということが、例えば、最高得点者の中から抽選で1名に、ペットボトル水等の景品をプレゼントというのがあったら、もうちょっとやってみようかなと思う。

(企業局) 参考にさせていただく。

(懇話会メンバー) 募集記事を子供たちが読むことを想定すると、折りたたみボトルっていう文字面だけだとイメージが付きにくい子供がいてもおかしくない。とてもかわいいボトルなので、募集記事で写真などを掲載したりして、視覚的に子供に、まずは「かわいい」、「欲しい」、だから「検定やってみよう」と思ってもらう仕組みがあると良いのではないかなと思う。

(企業局) 視覚的に分かると折りたたみボトル欲しいと思う方が増えると思うので、こちらについても参考にさせていただく。

資料(p13-15)により、ホームページ・広報紙等によるPRについて事務局から説明。

(説明後、「ポタリちゃんの大冒険～おいしい水のルーツ編～」の動画を流す)

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) おいしい水のルーツ編、とても興味深く拝見させていただいた。昭和から平成、令和とずっと生きている方には面白いと思う。ただ、令和に生まれたような人から見たら、このスピードと、この細かい説明がついていけるのかと思った。また、アクセス件数について、クリックする件数を数えたものをアクセス件数というのか。

議事録

(企業局) そのとおりである。

(鎌田座長) 前回の動画よりも音声が大分スムーズになっている気がするが、今回の動画の音声は前回と変えたのか。

(企業局) 前回の動画は、フリー音声ソフトを使っており、メンバーから聞きにくいという御意見をいただいた。

ちなみに、今回の動画については市販の音声ソフトを使っているが、聞きにくいことはなかったか。また、音声のスピードはどうか。

(懇話会メンバー) もうちょっとゆっくりだと良いと思う。

(企業局) 参考にさせていただく。

(懇話会メンバー) 私も興味深く拝見させていただいたが、パソコンをあまり使わないので、ホームページを見ることが少ない。県水だよりはよく読むし、目にするので、県水だよりの中に浄水場や給水場等の写真が出た時、動画でもっと分かりますよという紹介があると、スマホで検索できるので、検討してくれるとありがたい。県水だよりでは、文字数制限があるだろうから、「詳しくはこの動画を」、みたいにしてくれるとありがたい。

(企業局) 参考にさせていただく。

(小松崎副座長) 「ポタリちゃんの大冒険～おいしい水づくり編～」には冊子があったと思うが、「ポタリちゃんの大冒険～おいしい水のルーツ編～」の冊子は作っていないのか。

(企業局) おいしい水づくり編の冊子は、主に水道出前講座等で小学生に配布するために作成したものである。おいしい水のルーツ編は大人向けの内容となっており、配布を考えていなかったため、冊子は作っていない。

(小松崎副座長) 確かに御意見が出たように、ちょっと内容が難しいかなと思うが、県水だよりに動画の案内を掲載すると理解の助けになると思う。

(企業局) 参考にさせていただく。

(鎌田座長) 千葉県他の部局のアクセス数を考えた時に、ポタリちゃんの動画のアクセス件数はどれくらいの位置付けなのか。その比較をしても面白いのではないか。企業局のサイト内でアクセスが減った増えたっていうのも大事だと思うが、アクセス数が千葉県の他部局と比べてすごく多いようであれば、もっとアピールした方が良いと思うので、できる範囲で御検討いただけると良いかなと思う。

(企業局) 参考にさせていただく。

(鎌田座長) 最近、白黒の写真をA Iでカラーにできるツールがある。それを使えば～おいしい水のルーツ編～の話がリアルに見えると思うので、可能であれば御検討いただければと思う。

(企業局) 参考にさせていただく。

資料(p16-17)により、インターネットモニターアンケートについて事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) このアンケート結果に関して、例えば、その居住地域別でどれだけデータが変わるか、差があるのか教えていただきたい。

議事録

また、塩素のにおいを感じるかというようなアンケートをとる際、おそらく中には、水道水と塩素のにおいは紐づけられており、実際はそこまで塩素のにおいを感じていないが、「感じる」と回答される方もおられると思う。事実として、実際に塩素のにおいを感じるかっていうのは、インターネットアンケートでは難しいと思うが、例えば市販品の水をブラインドで混ぜて調査して、どれぐらいの人が感じるかを試してみてもどうかと思った。実際、残留塩素の低減化について非常に力を入れていることは懇話会を通じて存じているが、果たしてそれが客観的な事実としてどれぐらいの問題があるってところの意識は、一回調査してみてもよいと思って、御意見させていただいた。

(企業局) 居住地域別については、さほど目立った違いはない。なお、昨年度御意見いただいた千葉県に長く住んでいた方と、他県から千葉県に来られた方で、飲み水としての満足度に違いが出るかどうかについて、令和4年度の結果をまとめて集計したところ、目立った差がなかった。

また、市販品とのブラインド調査については、浄水場見学会があり、そこで利き水をやらせていただいた。前日に採水して冷やした水道水と市販品のペットボトル水を分らないようにして、御参加いただいた方々に飲み比べしていただいた。その結果については、次回の懇話会で御報告をさせていただければと思っている。

○議題3 その他

ウィークリー千葉県「おいしさ磨く千葉の水～千葉県営水道～」の紹介(動画を流す)。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(鎌田座長) 動画はまた見れるのか。

(企業局) 千葉県ホームページ上のちばコレ channel でいつでも見れる状態となっている。

(懇話会メンバー) すごい良い映像だったので、おいしい水検定の回答を見るよりも、これを見た方が、すごく理解しやすかった。おいしい水検定の回答のところにこういった映像もありますとしていただけるとすごくわかりやすい。下敷きのイラストでの説明だけでは少し不十分だと思う。

○その他意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 愛知県の豊田市で老朽化した水道管はA Iを使って調べてるようだが、千葉県はどうか伺いたい。

(企業局) 確かに、ニュースでA Iを使った老朽度調査が報道されている。現在、企業から話を伺っているところである。

(懇話会メンバー) 東日本大震災の時に新浦安で被災して、その時の記憶がまだ強く残っている。以前の懇話会で教えていただいたのは、新しい水道管は地震が起きても外れず、神戸の地震の時も水が止まることはなかったということと、千葉県では徐々に新しい水道管に変えていっているということであった。千葉県では、現在どのくらい新しい水道管に変わっているのか教えていただきたい。

議事録

(企業局) 県営水道では、東日本大震災の被災を受け、継手の部分が抜け出さないような耐震管と言われる水道管に更新している。湾岸埋立地域では、かなり液状化被害が出たため、優先的に耐震管に交換する工事を行っている。県営水道全体の比率としては、前年度末で26.9%耐震管に更新しており、年間80km更新していく予定である。

(懇話会メンバー) 最近、非常に猛暑が続いているが、浄水給水において、猛暑の与える影響というのは何かあるのか。

(企業局) 水温は残留塩素濃度に影響する因子の一つで、あまりに水温が高いと残留塩素濃度が減りやすいことが懸念される。

(懇話会メンバー) 順次、耐震管に更新されているということだが、管の材質は何か。

(企業局) 主に道路下に入っているのはダクタイル鋳鉄管と言ひ、強度の強い鉄管を使っている。大口径の一部については鋼管を使っているところもあるが、ほぼダクタイル鋳鉄管の比率が高い。

(懇話会メンバー) 先ほど新浦安の話があった。私が今危惧してるのは、舞浜は非常に地盤沈下が激しいところで、1回ガス会社の配管作業に立ち会ったのだが、樹脂管を使っていた。水道管で鋳鉄管を使っているのは、水圧の関係か。

(企業局) 水道管については、管体全体の強度や耐震性が重要な要素になるので、ダクタイル鋳鉄管を使っている。

(鎌田座長) 最近の水需要が大分変わってきた事業体もあるようである。水の需要が減ってくると、滞留時間も長くなっていくので、安全も考えなければいけない。水を大切に使うってほしいというのは、ポタリちゃんもアピールしていて、大切に使うってほしいところがあるとは思いますが、そのバランスは非常に難しいと思う。残留塩素を下げることももちろん大事だと思うが、安全性を確保することも大切であることの説明をしっかりする必要があると思うので、ぜひ御検討いただければと思う。今年は特に暑いので、残留塩素の低減化に良い結果が出れば出たでよいが、残留塩素を確保することは水道の中で重要なことだと思うのでよろしくお願ひしたい。

(企業局) 承知した。

(小松崎副座長) 水需要の変化については、空き家問題や家であまり料理しなくなったということが原因としてあるかもしれないと思う。実際の水道水の使用量というのは、減っているのか。

(鎌田座長) 事業体によると思う。

(小松崎副座長) 例えば若い人はシャワーの水を出しっ放しにする等、一昔前は問題になっていた。もし、現在水道水の使用量が減っているなら、節水がかなり定着して、良い意味でも使用量が少なくなったと言えたら良いと思う。

○管理部長挨拶

○連絡事項・閉会

以上